

12月26日 市長記者会見

相生山緑地の道路建設

河村市長が「廃止」を表明

建設中止は妥当な判断

日本共産党

河村たかし市長は12月26日の記者会見で、相生山緑地を横断する弥富相生山線の道路事業の廃止を表明しました。

通過交通対策は別の方法で

市長は記者会見で、近隣住宅地への通過車両の入り込み対策については、通行許可書を発行して近隣住民の自動車通行を確保しつつ、一部区間の道路を通行止めにするなどの措置を警察に要請すると述べました。日本共産党も「通過交通の抑制策は、弥富相生山線の開通ではなく、「別の方法」がある」と提案。道路着工前には、コミュニティ道路や一方通行規制などの「コミュニティ・ゾーン形成事業」の実施を提案しています。

建設された道路部分も公園に

すでに建設された部分は、道路部分も緑地公園として都市計画決定し、子どものキャンプ場などとして活用する、障害者も利用できるユニバーサルデザイン都市公園として整備すると表明。ただし車線程度の園路を設け、救急車などの緊急車両は通行できるようにすると「賛成派」の住民の意見にも一定の配慮をしています。すみやかに都市計画審議会に諮問して審議してもらおう手続きを進めると表明しました。

用途の大半が生活費

今回の市長判断に失望する人もいます。しかし、道路建設が中断してから5年近くたち、住民の意向調査を踏まえて、ようやく市長が判断したのです。この判断を尊重し、道路事

10月の住民意向調査では賛否両論

10月11日に相生山緑地を横断する道路「弥富相生山線」建設の再開か中止かを、河村たかし市長が判断するための住民意向の調査が、天白区役所講堂で行われました。

昼の部では自然保護などにとりくんでいる4団体（相生山の自然を守る会・相生の里山連絡会・相生山の四季を歩く会・市道弥富相生山線を考える市民の会）が、夜の部では地元4学区（山根・相生・野並・高坂）の学区連絡協議会委員と「天白区を住みよくする会」が、河村市長に意見をぶつけました。

判断するうえでの論点を示した市長

昼の部では道路建設の中止を求める立場から、夜の部では再開を求める立場からの意見が続出しました。市長は、判断するうえでの論点を4点示しました。「野並交差点の

市道弥富相生山線を通る動きのタイムライン表

名古屋市の河村たかし市長は26日の記者会見で、工事を中断していた市道「弥富相生山線」の建設を取りやめ、公園として整備する方針を表明した。...

相生山道路計画中止

河村市長方針 公園として整備

2014年12月27日 読売新聞(上)・中日新聞(下)



河村市長一問一答、渋滞ほぼ解消された、地元歓迎と批判交錯の報道記事抜粋

相生山道路中止 市長表明 地元歓迎と批判交錯

業を廃止したうえで、緑地の整備や近隣住宅地の通過交通問題などにとりくんでいくべきです。

状況」「通り抜け交通の解決策」「野並水害など防災」「相生山地域の魅力」です。

このうち「野並交差点の渋滞」については、中止派は「たいしたことない」、再開派は「深刻だ」というように、主観的なものです。渋滞緩和は、建設再開の理由にはなりにくくなっています。「通り抜け交通の解決策」については、道路の開通によって解決するのか、他の対策によって解決するのか、昼の部と夜の部で意見が分かれました。地元の山根学区の区政協力委員長は、「交通規制を解除してほしい」と訴えていましたので、現在は地元の合意が得られる状況にありません。

「野並水害など防災」については、夜の部で多くの意見が出され、「相生山地域の魅力」については、昼の部で多くの意見が出されました。

今回は、これらの意見などを踏まえ、建設の是非の判断がされたものです。